

## 受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「世界リート・オープン」は、このたび、第90期の決算を行いました。

当ファンドは、北米リート・マザーファンド、オーストラリア／アジアリート・マザーファンド、ヨーロッパリート・マザーファンドの各受益証券への投資を通じて、世界各国の不動産投資信託証券に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### 第90期末(2018年3月15日)

基準価額	18,136円
純資産総額	1百万円
第85期～第90期	
騰落率	△7.3%
分配金(税引前)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

# 世界リート・オープン

追加型投信／内外／不動産投信

作成対象期間：2017年9月16日～2018年3月15日

## 交付運用報告書

第85期(決算日2017年10月16日) 第88期(決算日2018年1月15日)

第86期(決算日2017年11月15日) 第89期(決算日2018年2月15日)

第87期(決算日2017年12月15日) 第90期(決算日2018年3月15日)

 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社クライアント・サービス部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00～17:00)

[ホームページ]

<http://www.okasan-am.jp>

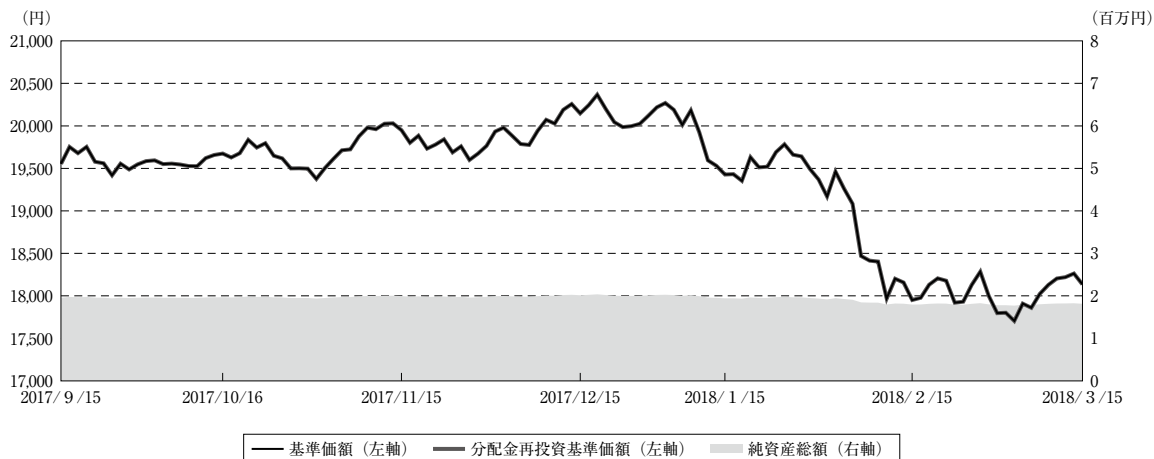
※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。  
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。



## 運用経過

## 作成期間中の基準価額等の推移

(2017年9月16日～2018年3月15日)



第85期首：19,554円

第90期末：18,136円（既払分配金（税引前）：0円）

騰落率：△7.3%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2017年9月15日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

### (主なプラス要因)

#### ○北米リート・マザーファンド

・米国のメイスリッチやカナダのDREAM GLOBAL REAL ESTATEなどが上昇したことがプラス寄与となりました。

#### ○オーストラリア／アジアリート・マザーファンド

・オーストラリアのウエストフィールドやG D I プロパティ・グループなどが上昇したことがプラス寄与となりました。

#### ○ヨーロッパリート・マザーファンド

・英国のセグロやユナイテッド・グループなどが上昇したことがプラス寄与となりました。  
・為替が対イギリスポンドで円安となったことがプラスに寄与しました。

### (主なマイナス要因)

#### ○北米リート・マザーファンド

・米国のウェルタワースやケアトラストREITなどが下落したことがマイナスに影響しました。  
・為替が対米ドルや対カナダドルで円高となったことがマイナスに影響しました。

#### ○オーストラリア／アジアリート・マザーファンド

・オーストラリアのビシニティ・センターズやG P Tグループなどが下落したことがマイナスに影響しました。  
・為替が対オーストラリアドルや対シンガポールドルで円高となったことがマイナスに影響しました。

#### ○ヨーロッパリート・マザーファンド

・フランスのユニペイル・ロダムコや英国のランド・セキュリティーズ・グループなどが下落したことがマイナスに影響しました。

## 1 万口当たりの費用明細

(2017年9月16日～2018年3月15日)

項目	第85期～第90期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 152	% 0.787	(a) 信託報酬 = 作成期間中の平均基準価額 × 信託報酬率
(投信会社)	(93)	(0.482)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(52)	(0.268)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(7)	(0.037)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	20	0.103	(b) 売買委託手数料 = 作成期間中の売買委託手数料 ÷ 作成期間中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託証券)	(20)	(0.103)	
(c) 有価証券取引税	4	0.019	(c) 有価証券取引税 = 作成期間中の有価証券取引税 ÷ 作成期間中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資信託証券)	(4)	(0.019)	
(d) その他費用	12	0.062	(d) その他費用 = 作成期間中のその他費用 ÷ 作成期間中の平均受益権口数
(保管費用)	(11)	(0.059)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、金銭信託支払手数料
合計	188	0.971	
作成期間中の平均基準価額は、19,354円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

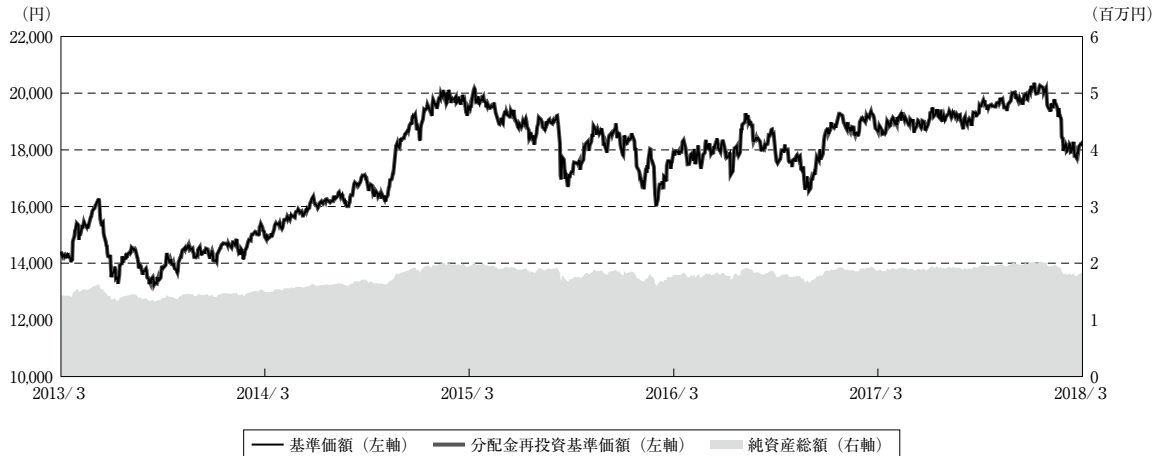
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2013年3月15日～2018年3月15日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2013年3月15日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2013年3月15日 期初	2014年3月17日 決算日	2015年3月16日 決算日	2016年3月15日 決算日	2017年3月15日 決算日	2018年3月15日 決算日
基準価額 (円)	14,408	14,850	19,434	17,914	18,622	18,136
期間分配金合計(税引前) (円)	-	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	3.1	30.9	△7.8	4.0	△2.6
FTSE NAREIT Equity TR Index騰落率 (%)	-	3.7	20.5	2.9	6.0	2.5
S&P/ASX 200 A-REIT Index騰落率 (%)	-	△2.1	29.8	2.1	△1.2	△0.8
FTSE EPRA/NAREIT Developed Europe Index騰落率 (%)	-	9.8	38.4	△6.1	△6.0	5.9
純資産総額 (百万円)	1	1	1	1	1	1

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) FTSE NAREIT Equity TR Index、S&P/ASX 200 A-REIT Index、FTSE EPRA/NAREIT Developed Europe Indexは当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。詳細につきましては、最終ページをご覧ください。

**投資環境**

(2017年9月16日～2018年3月15日)

米国のリート市場は、資産運用会社が小売り系の大手リートに買収提案を行い、業界再編期待が高まる一方、議会が減税を容認する予算決議案を可決したことを受けて、財政悪化が懸念されるなど、一進一退の展開となりました。2018年1月以降は、2017年12月に大型減税法案が成立したことや良好な経済指標を背景に、景気拡大期待やインフレ懸念が高まり、長期金利が上昇しました。これを受けてリートへの資金調達環境の悪化懸念が強まり、下落する展開となりました。2月中旬以降は、主要リートへの2017年10-12月期決算が概ね良好な内容となったことなどが好材料となり、持ち直す展開となりました。

オーストラリアのリート市場は、豪中央銀行（RBA）総裁が低金利政策を維持する姿勢を示したことなどから、2017年12月中旬まで上昇する展開となりました。その後は、欧米の金利上昇に連れて長期金利が上昇したことなどを受けて、利回り面でのリートの相対的な魅力が低下し、軟調な展開となりました。2018年2月中旬以降は、RBAが公表した政策決定会合の議事要旨で、インフレは緩やかな上昇にとどまるとの見方が示されたことなどを受けて、緩和的な金融政策が維持され、リートへの良好な資金調達環境が続くとの見方が拡がり、底堅い展開となりました。

ヨーロッパのリート市場は、個人用倉庫に投資する英国のリートが同業の会社を買収すると発表したことなどから、リートへの業績拡大期待が強まり、堅調な展開となりました。しかし2018年1月以降は、昨年開催された欧州中央銀行（ECB）政策委員会の議事要旨が市場予想よりもタカ派的な内容となったことを受けて、早期利上げへの警戒感から長期金利が上昇したことなどが悪材料となり、反落する展開となりました。2月中旬以降は、英国の欧州連合（EU）離脱交渉を巡り先行き不透明感が強まる一方、ECBが2019年のインフレ予想を下方修正したことを受けて、長期金利が低下したことが好材料となるなど、一進一退の展開となりました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2017年9月16日～2018年3月15日)

**<世界リート・オープン>**

主要投資対象である「北米リート・マザーファンド」、「オーストラリア／アジアリート・マザーファンド」、「ヨーロッパリート・マザーファンド」の各受益証券の組入比率は、合計で概ね90%以上で推移させました。

## ○北米リート・マザーファンド

リートの組入比率は概ね90%以上を維持し、高位を保ちました。

北米の経済動向や個別銘柄のバリュエーションに注目し、資金の流出入に合わせて国別の投資比率や個別銘柄の組入比率を随時変更しました。

米国のベンタスやエクイティ・レジデンシャルなどを全て売却した一方、米国のサイモン・プロパティ・グループやHCPなどを新規に買い付けました。

## ○オーストラリア／アジアリート・マザーファンド

リートの組入比率は概ね90%以上を維持し、高位を保ちました。

オセアニア地域、アジア各国の経済動向や個別銘柄のバリュエーションに注目し、国別の投資比率や個別銘柄の組入比率を随時変更しました。

香港の領展不動産投資信託基金（リンク・リアル・エステート・インベストメント・トラスト）やオーストラリアのPropertylink Groupなどを全て売却した一方、ニュージーランドのクウィ・プロパティ・グループや日本の積水ハウス・リート投資法人を新規に買い付けました。

## ○ヨーロッパリート・マザーファンド

リートの組入比率は概ね90%以上を維持し、高位を保ちました。

ヨーロッパ各国の経済動向や個別銘柄のバリュエーションに注目し、国別の投資比率や個別銘柄の組入比率を随時変更しました。

英国のイントゥ・プロパティーズやセーフストア・ホールディングスなどを全て売却した一方、英国のハマソンやスペインのインモビリアリア・コロニアルなどを新規に買い付けました。

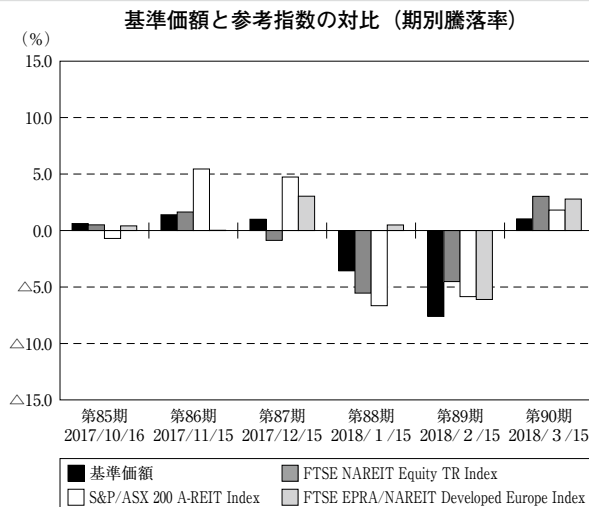
**(為替)**

組入外貨建資産につきましては、当ファンドおよび「北米リート・マザーファンド」、「オーストラリア／アジアリート・マザーファンド」、「ヨーロッパリート・マザーファンド」とも、運用の基本方針に則り為替ヘッジを行いませんでした。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2017年9月16日～2018年3月15日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税引前) 込みです。

(注) 参考指数は、FTSE NAREIT Equity TR Index、S&P/ASX 200 A-REIT Index、FTSE EPRA/NAREIT Developed Europe Indexです。

## 分配金

(2017年9月16日～2018年3月15日)

分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。当作成期間は、安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指す観点から、分配を見送らせていただきました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期	第90期
	2017年9月16日～ 2017年10月16日	2017年10月17日～ 2017年11月15日	2017年11月16日～ 2017年12月15日	2017年12月16日～ 2018年1月15日	2018年1月16日～ 2018年2月15日	2018年2月16日～ 2018年3月15日
当期分配金	-	-	-	-	-	-
(対基準価額比率)	- %	- %	- %	- %	- %	- %
当期の収益	-	-	-	-	-	-
当期の収益以外	-	-	-	-	-	-
翌期繰越分配対象額	11,653	11,716	11,762	11,822	11,872	11,997

(注) 対基準価額比率は当期分配金 (税引前) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。



## 今後の運用方針

### (投資環境)

米国のリート市場は、バリュエーション面での割安感に加え、資金調達環境の悪化は限定的になると見込まれることやリートの業績拡大が続いていることから、戻りを試す展開になると予想します。物価指標でインフレの上昇圧力の弱さが示されたことから、インフレが加速するとの懸念が落ち着き、長期金利の急上昇によるリートの資金調達費用の増加に対する警戒感は後退すると考えます。主要リートの2017年10-12月期決算では、不動産賃貸収入は前年比で増加基調を維持し、景気拡大や良好な事業環境を背景に2018年以降も業績拡大が続くと思われます。また、不動産価格の底堅い推移が続く中で、米国リートのNAV倍率は、リート価格が保有資産価値に満たないことを意味する1倍を下回っており、米国リートは割安な水準にあると考えます。

オーストラリアのリート市場は、リートの業績が堅調に推移していることから、持ち直す展開になると予想します。景気や企業業績の拡大を背景に企業がオフィスを都市中心部へ拡張移転する動きが広がっており、好調な需要が見込まれます。また、シドニーでは、インフラ整備に伴うオフィスビルの取り壊しが増えているほか、メルボルンでも今年完成するオフィスビルの入居テナントはほぼ決まっております。需給環境の改善を背景に賃料上昇が続くと思われます。また、産業施設市場では、景気拡大に伴う物流量の増加により、物流センターの需要が供給量を上回るペースで拡大しています。今後はネット通販企業からの需要増加も見込まれ、オフィスビルや物流センターに投資するリートの業績拡大が続くと考えます。

ヨーロッパのリート市場は、足元のユーロ圏のインフレ率が落ち着いており、ECBの利上げ観測は後退することが予想されることやリートの業績は安定的に推移していることから、戻りを試す展開になると考えます。ユーロ圏では、景気の拡大が続いており、雇用情勢などの底堅さがリートの事業環境に好影響を与えると考えます。国別では、ドイツやフランスのオフィス市場は不動産賃貸需要の安定した成長が見込まれます。英国では、追加利上げ観測の高まりやEU離脱交渉を巡る不透明感などが懸念材料として残ります。しかし、物流センターなどの産業施設を中心に賃料が上昇していることやロンドンを中心に利便性に優れた商業用不動産に対する根強い投資需要が相場を下支えする要因になると考えます。

**(運用方針)****<世界リート・オープン>**

主要投資対象である「北米リート・マザーファンド」、「オーストラリア／アジアリート・マザーファンド」、「ヨーロッパリート・マザーファンド」の受益証券の組入れを高位に維持して運用する方針です。

なお、今後の各マザーファンドへの投資割合は、以下のとおりにする予定ですが、投資環境の変化に応じて、投資割合を見直してまいります。

北米リート・マザーファンド	62.5%程度
オーストラリア／アジアリート・マザーファンド	23.0%程度
ヨーロッパリート・マザーファンド	14.5%程度

## ○北米リート・マザーファンド

当ファンドの外貨建資産の運用指図に関する権限をリーフ アメリカ エル エル シーに委託しており、北米のリート等の運用は同社が行っています。同社では四半期ごとに戦略投資委員会を開催し、長期的な見通しに基づき北米各国の投資配分及びセクターごとの投資比率を決定します。その上で個別銘柄のファンダメンタルズ分析に基づくボトムアップ・アプローチにより、銘柄の選択を行い、ポートフォリオを構築します。

## ○オーストラリア／アジアリート・マザーファンド

当ファンドの外貨建資産および不動産投資信託証券の運用指図に関する権限をリーフ アメリカ エル エル シーに委託しています。なお、リーフ アメリカ エル エル シーは投資判断に関しドイチェ・インベストメンツ・オーストラリア・リミテッドに再委託しています。再委託先運用会社では中長期的な見通しに基づき各市場への投資配分及びセクターごとの投資比率を決定します。その上で個別銘柄のファンダメンタルズ分析に基づくボトムアップ・アプローチにより、銘柄の選択を行い、ポートフォリオを構築します。

## ○ヨーロッパリート・マザーファンド

当ファンドの外貨建資産の運用指図に関する権限をドイチェ・オルタナティブ・アセット・マネジメント（イギリス）リミテッドに委託しており、ヨーロッパのリート等の運用は同社が行っています。同社では中長期的な見通しに基づき、各市場への投資配分及びセクターごとの投資比率を決定します。その上で個別銘柄のファンダメンタルズ分析に基づくボトムアップ・アプローチにより、銘柄の選択を行い、ポートフォリオを構築します。

## お知らせ

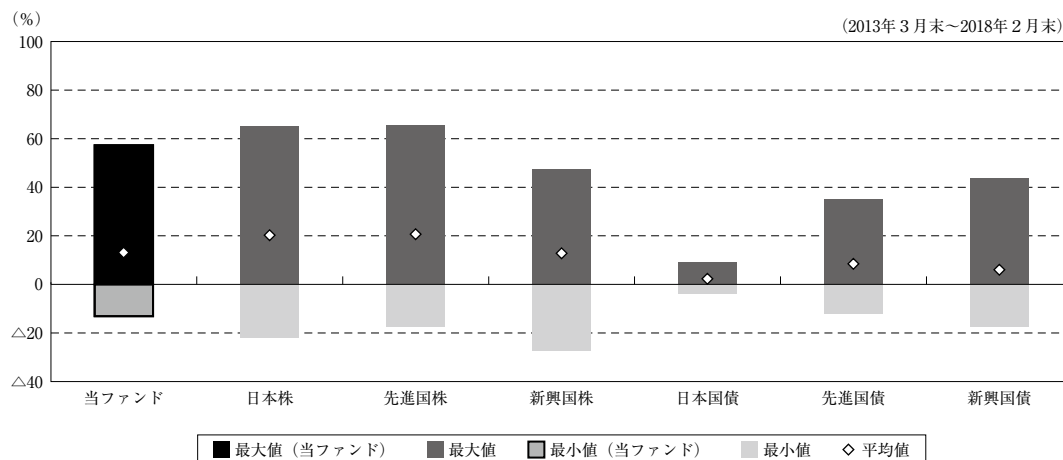
該当事項はございません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／不動産投信	
信託期間	2010年9月22日から2020年9月15日までです。	
運用方針	北米リート・マザーファンド、オーストラリア／アジアリート・マザーファンド、ヨーロッパリート・マザーファンド（以下、マザーファンドといいます。）の各受益証券への投資を通じて、世界各国の不動産投資信託証券に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	各マザーファンドの各受益証券を主要投資対象とします。また、不動産関連のETFに直接投資することもあります。
	北米リート・マザーファンド	米国およびカナダの取引所および取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
	オーストラリア／アジアリート・マザーファンド	オーストラリア・ニュージーランドおよび日本を含むアジアの取引所および取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
	ヨーロッパリート・マザーファンド	ヨーロッパの取引所および取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	各マザーファンドの受益証券を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。
	北米リート・マザーファンド	米国およびカナダの取引所および取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券に投資を行い、高水準の配当収入の獲得を目指すとともに中長期的な値上がり益を追求します。 運用にあたっては、リーフ アメリカ エル エル シーに外貨建資産の運用指図（外国為替予約取引の指図を除きます。）に関する権限を委託します。
	オーストラリア／アジアリート・マザーファンド	オーストラリア・ニュージーランドおよび日本を含むアジアの取引所および取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券に投資を行い、高水準の配当収入の獲得を目指すとともに中長期的な値上がり益を追求します。 運用にあたっては、リーフ アメリカ エル エル シーに外貨建資産および不動産投資信託証券についての運用指図（外国為替予約取引の指図を除きます。）に関する権限を委託します。
	ヨーロッパリート・マザーファンド	ヨーロッパの取引所および取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券に投資を行い、高水準の配当収入の獲得を目指すとともに中長期的な値上がり益を追求します。 運用にあたっては、ドイチェ・オルタナティブ・アセット・マネジメント（イギリス）リミテッドに外貨建資産の運用指図（外国為替予約取引の指図を除きます。）に関する権限を委託します。
分配方針	毎月15日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	57.3	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値	△13.1	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4
平均値	13.1	20.2	20.6	12.8	2.3	8.4	6.0

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2013年3月から2018年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・デリバティブ (円ベース)

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2018年3月15日現在)

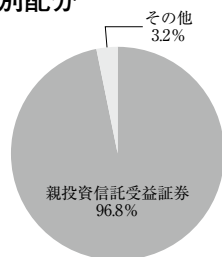
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第90期末
	%
北米リート・マザーファンド	60.4
オーストラリア／アジアリート・マザーファンド	22.2
ヨーロッパリート・マザーファンド	14.2
組入銘柄数	3銘柄

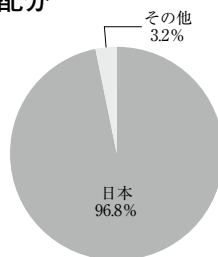
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

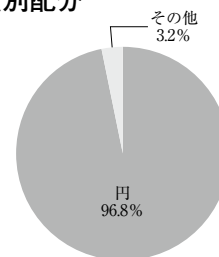
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

## 純資産等

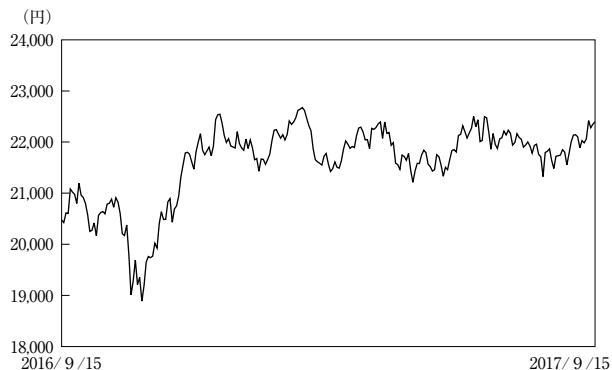
項目	第85期末	第86期末	第87期末	第88期末	第89期末	第90期末
	2017年10月16日	2017年11月15日	2017年12月15日	2018年1月15日	2018年2月15日	2018年3月15日
純資産総額	1,967,440円	1,994,884円	2,014,739円	1,942,826円	1,795,061円	1,813,643円
受益権総口数	1,000,000口	1,000,000口	1,000,000口	1,000,000口	1,000,000口	1,000,000口
1万口当たり基準価額	19,674円	19,949円	20,147円	19,428円	17,951円	18,136円

(注) 当作成期間(第85期～第90期)中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。

## 組入上位ファンドの概要

## 北米リート・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2016年9月16日～2017年9月15日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	45 (45)	0.208 (0.208)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	1 (1)	0.003 (0.003)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	10 (10) (0)	0.048 (0.047) (0.001)
合計	56	0.259

期中の平均基準価額は、21,642円です。

- (注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。  
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

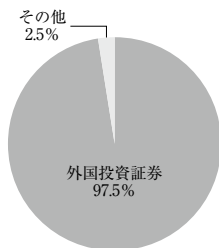
【組入上位10銘柄】

(2017年9月15日現在)

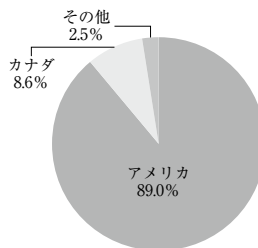
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 WELLTOWER INC	投資証券	米ドル	アメリカ	8.9%
2 VENTAS INC	投資証券	米ドル	アメリカ	8.8%
3 EQUITY RESIDENTIAL	投資証券	米ドル	アメリカ	6.1%
4 CARETRUST REIT INC	投資証券	米ドル	アメリカ	6.1%
5 VEREIT INC	投資証券	米ドル	アメリカ	5.0%
6 HEALTHCARE REALTY TRUST INC	投資証券	米ドル	アメリカ	5.0%
7 STORE CAPITAL CORP	投資証券	米ドル	アメリカ	3.7%
8 AGREE REALTY CORP	投資証券	米ドル	アメリカ	3.5%
9 MGM GROWTH PROPERTIES LLC-A	投資証券	米ドル	アメリカ	3.1%
10 WEINGARTEN REALTY INVESTORS	投資証券	米ドル	アメリカ	3.0%
組入銘柄数	40銘柄			

- (注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。  
(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。  
(注) 国(地域)につきましては発行国を表示しております。

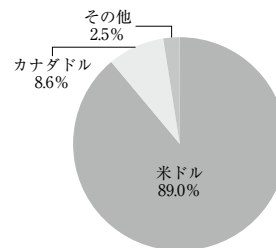
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



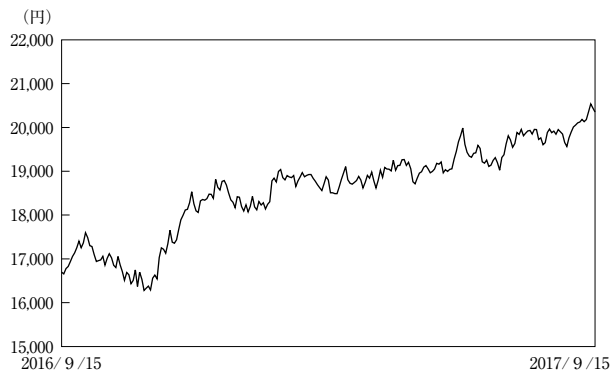
- (注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。  
(注) 国別配分につきましては、発行国を表示しております。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書(全体版)をご覧ください。

## 組入上位ファンドの概要

## オーストラリア／アジアリート・マザーファンド

## 【基準価額の推移】



## 【1万口当たりの費用明細】

(2016年9月16日～2017年9月15日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	30 (30)	0.164 (0.164)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	6 (6)	0.034 (0.034)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	18 (18) (0)	0.098 (0.097) (0.001)
合計	54	0.296

期中の平均基準価額は、18,569円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

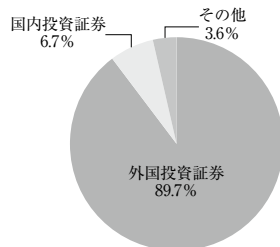
## 【組入上位10銘柄】

(2017年9月15日現在)

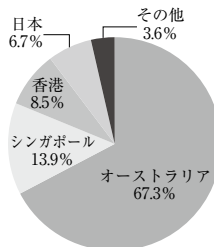
銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率
				%
1 GPT GROUP	投資証券	オーストラリアドル	オーストラリア	8.6
2 VICINITY CENTRES	投資証券	オーストラリアドル	オーストラリア	8.6
3 LINK REIT	投資証券	香港ドル	香港	8.5
4 SCENTRE GROUP	投資証券	オーストラリアドル	オーストラリア	8.5
5 DEXUS	投資証券	オーストラリアドル	オーストラリア	7.3
6 STOCKLAND	投資証券	オーストラリアドル	オーストラリア	7.0
7 INVESTA OFFICE FUND	投資証券	オーストラリアドル	オーストラリア	6.4
8 WESTFIELD CORP	投資証券	オーストラリアドル	オーストラリア	5.7
9 CAPITALAND COMMERCIAL TRUST	投資証券	シンガポールドル	シンガポール	4.3
10 プレミア投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	4.3
組入銘柄数		20銘柄		

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。  
 (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。  
 (注) 国(地域)につきましては発行国を表示しております。

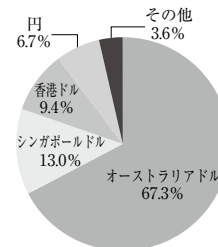
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



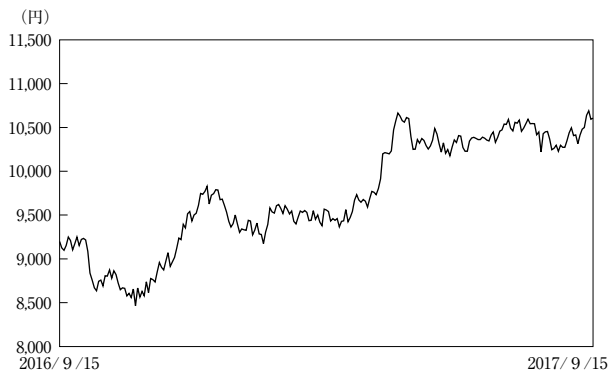
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。  
 (注) 国別配分につきましては、発行国を表示しております。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書(全体版)をご覧ください。

## 組入上位ファンドの概要

## ヨーロッパリート・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2016年9月16日～2017年9月15日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	34 (34)	0.352 (0.352)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	28 (28)	0.289 (0.289)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	16 (16) (0)	0.162 (0.161) (0.001)
合計	78	0.803

期中の平均基準価額は、9,698円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

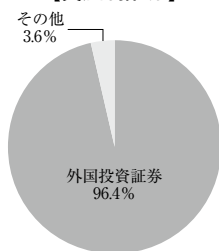
【組入上位10銘柄】

(2017年9月15日現在)

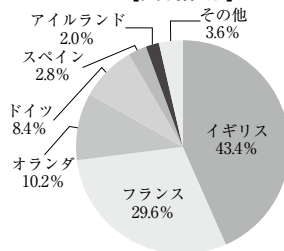
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	SEGRO PLC	投資証券	イギリスポンド	イギリス	9.0
2	KLEPIERRE	投資証券	ユーロ	フランス	9.0
3	GECINA SA	投資証券	ユーロ	フランス	8.9
4	UNIBAIL-RODAMCO SE	投資証券	ユーロ	フランス	8.9
5	BRITISH LAND CO PLC	投資証券	イギリスポンド	イギリス	8.2
6	LAND SECURITIES GROUP PLC	投資証券	イギリスポンド	イギリス	7.0
7	EUROCOMMERCIAL PROPRTIE-CV	投資証券	ユーロ	オランダ	5.8
8	ALSTRIA OFFICE REIT-AG	投資証券	ユーロ	ドイツ	4.8
9	NSI NV	投資証券	ユーロ	オランダ	4.4
10	GREAT PORTLAND ESTATES PLC	投資証券	イギリスポンド	イギリス	3.8
	組入銘柄数		21銘柄		

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。  
 (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。  
 (注) 国(地域)につきましては発行国を表示しております。

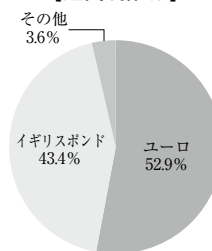
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。  
 (注) 国別配分につきましては、発行国を表示しております。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書(全体版)をご覧ください。



### ＜当ファンドの参考指数について＞

FTSE NAREIT Equity TR Indexは、FTSE Groupが発表する米国リートの代表的な指数です。配当を考慮したトータルリターン・ベースで、1971年12月31日を100として算出しています。

S&P/ASX 200 A-REIT Indexは、オーストラリア証券取引所上場の主要200銘柄で構成されるA S X 200のうち、不動産関連証券で構成される指数です。

FTSE EPRA/NAREIT Developed Europe Indexは、FTSE Groupが算出する指数で、売買高の大きいヨーロッパの不動産関連証券によって構成されています。

### ＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

#### ○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

#### ○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

#### ○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。